求める教員像および教員組織の編制方針について

医学研究科

＜求める教員像＞

本学の学是「仁」、理念「不断前進」を尊び、医学研究科の人材養成の目的および教育目標を十分に理解することに加え、教員の資質・能力として以下を求めています。

1．医学の発展・医療の高度化を推進するための体系的な知識と確実な技術を身につけた人
2．不断前進する医学・医療を生涯にわたってアクティブに自学自習する態度・習慣を大学院生に教育することができる人
3．常に相手の立場に立って物事を考え、高い倫理観を持ち、人間として、医師・研究者として他を思いやり慈しむ心、即ち学是「仁」の心をもった人
4．国際的な研究力をもち、大学院生・若手研究者の育成を推進できる人
5．国際社会の視点から未来を切り開く人間性溢れる豊かな教養を身につけた人

＜教員組織の編制方針＞

医学研究科の人材養成目的・教育目標を達成するため、医学研究科長を中心にディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく修士課程カリキュラム及び博士課程カリキュラムの実施、健康管理や奨学金規程等に基づく学生支援を実践するために十分な教員を配置します。研究・教育の実施にあたっては、医学研究科委員会、大学院検討委員会等を設置し、各役割分担の下で組織的な運営・連携・機能強化を図ります。

＜教員の募集・採用・昇格方針＞

教員に求められる資質・能力は「順天堂大学教員選考基準」のほか、各選考内規に則って教員の選考を行います。卒前・卒後の一貫した医学教育を実現するため、教員の大部分は医学部との併任とします。全職制に任期制を採用し、教授は全国公募を実施する等、透明性・適切性を担保します。研究・教育活動における評価は、学生による授業評価、ファカルティ・ディベロップメント（FD）参加状況、各種アンケート、発表論文数、筆頭論文数、認定医・専門医・指導医取得状況、臨床実績・評価、外部資金取得状況等の客観的指標に基づき行います。

＜教員の資質向上に関する方針＞

研究・教育水準の維持向上及び研究・教育活動の活性化を図るため、教員の FD ワークショップ（卒後教育ワークショップ）や研究倫理・科学研究費補助金に関する講習会を定期的に開催します。

豊富な研究分野（講座・研究室）に加え、基礎・臨床融合研究を推進する各研究センター、研究支援センター、寄付講座・連携大学院コース・産学官連携・国際交流連携等、充実した学術研究環境を整備します。教員の研究・教育活動を活性化し、独創的・先端的な研究成果を国内外の社会へ還元していくことを目指します。

求める教員像および教員組織の編制方針について

スポーツ健康科学研究科

＜求める教員像＞

１．教員の能力・資質

スポーツ健康科学研究科は、学是「仁」と「不断前進」の理念のもと、スポーツと健康の科学に関する知の修得と創造に貢献する研究と教育を通して、独創的かつ先端的な研究を独立して行うことができ、その成果をスポーツ健康科学の発展に応用できる高度な専門家の人材を育成します。本研究科の教員には、この教育目的の達成に貢献できることに加えて、次の各号を満たす能力と資質が求められます。

(1) 本学の建学の精神及び教育の理念、本研究科の教育研究上の目的及び 3 つの方針（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を理解し、実践できる教員

(2) 大学院設置基準に定められる教員の資格を満たし、職位に応じたスポーツ健康科学における研究業績、教育実績等を有し、かつ、高度の教育研究上の指導能力があると認められる教員

(3) 教育や研究を通じて広く国際社会に貢献できる教員

(4) 学生指導に熱意を持って取り組むことができる教員

(5) 大学及び研究科の管理運営や組織活動に協調性をもって参画し、貢献できる教員

＜教員組織の編制方針＞

１．教員の構成

本研究科は、教育研究上の目的を達成するため、大学院設置基準に定められた専任教員数及び教授の数を満たす教員組織を編制する。

教員組織は、教授、先任准教授、准教授、講師、助教、助手の専任教員、及び客員教員、特任教員から構成し、以下の方針に従って編制します。

(1) 学科目制による教員組織編制を原則とする。

(2) 教育上主要と認める授業科目については原則として専任の教授又は准教授に、それ以外の授業科目については専任の教授、准教授、講師又は助教に担当させる。

(3) 大学院研究科及び学部学科の枠を超え、組織的な教育・学生への集団指導を行うことができる教員組織を編制する。

(4) 教育研究水準の維持・向上を図るため、教員の構成が特定の年齢層に著しく偏ることのないよう配慮する。

(5) 広く国内外に人材を求め、性別構成に配慮する。

(6) 常に教員の資質向上を図り、教育課程にふさわしい教員組織を維持するため、任期制を導入し、定期的に教育研究能力を評価するとともに、授業科目と担当教員の適合性を判断する。

２．教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在

教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在及び職位に応じた役割については、「学校法人順天堂組織規則」、「順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科規程」等において明確化するものとします。

研究科長は、研究科全体の校務を掌理し、所属教職員を統督して、所管する研究科の教育研究に関する業務を統括します。

＜教員の募集・採用・昇格方針＞

教員の募集・採用・昇格等に関する規定および手続きは、「順天堂大学教員選考基準」及び「順天堂大学スポーツ健康科学部教育職員選考内規」において明確化するとともに、教員の大部分はスポーツ健康科学部との兼担とし、以下の方針に従って厳正・公正に審査します。

(1) 教員の採用に際しては、広く国内外に人材を求める。また、特定の範囲の年齢に偏ることのないよう教員の年齢構成に留意するとともに、適正な男女比構成にも配慮する。
(2) 教員の選考は、職位に相当する研究業績に加えて、人格、教育研究指導上の能力、教育業績、学会および社会における活動実績等も勘案する。また、任期制教員の再任審査においては、大学及び研究科の管理運営や組織活動についても評価する。
(3) 教員の能力・資質を判断する際には、研究業績、教育・学生指導実績、業務経験等を点数化し、客観的かつ透明な評価を実施する。

＜教員の資質向上に関する方針＞

本研究科は、大学院 FD 推進室を設置して、FD ワークショップや教員の資質向上を促す講習会を定期的に開催することにより、組織的に教員及び教員組織としての活動全般に関わる能力の開発に取り組みます。また、学生による授業評価を実施し、授業内容・方法の改善をすることで教育力の向上を図ります。

スポーツ健康医科学研究所、女性スポーツ研究センター等の研究センターを整備し、医学研究科・医療看護研究科をはじめ国内外の外部機関と連携し独創的・先端的な研究成果を上げ、その成果を国内外の社会へ還元していくことを目指します。

求める教員像および教員組織の編制方針について

医療看護学研究科

＜求める教員像＞

本学の学是「仁」、理念「不断前進」を尊び、医療看護学研究科の人材養成の目的および教育目標を十分理解し、教員として以下の資質・能力を備えた人材を求めています。

1．「不断前進」する姿勢を有し、自らの専門性を高められる人
2．専門分野について優れた学識及び実践力を有する人
3．専門分野の研究指導をするに相応しい知識及び経験を有し、研究者としての高い倫理観を備えている人
4．社会活動やグローバル化に積極的に関与し、国内外の学問的発展に貢献する意志を持つ人
5．大学・研究科の運営に関わる業務に積極的に携わる意欲のある人

＜教員組織の編制方針＞

医療看護学研究科の人材養成目的・教育目標を達成するため、以下の通り組織的な運営・連携・機能強化を図ります。

1．高度看護専門職者育成の教育課程に応じた教員組織を編制する。
2．透明性、適切性を確保しつつ、研究科の定める選考基準に則って、専門分野を考慮した人材を配置する。
3．他学問領域と連携し多様で先駆的な研究を推進するために必要な教員を配置する。
4．高度な研究指導能力・看護実践能力、及びグローバル化を推進する能力を備えた人材を登用する。

＜教員の募集・採用・昇格方針＞

教員に求められる資質・能力は「順天堂大学教員選考基準」のほか、審査基準に則って教員の選考を行います。学部・大学院の一貫した看護学教育を実現するため、資格を有する教員は医療看護学部・保健看護学部との併任とします。全職制に任期制を採用し、教授は全国公募を実施する等、透明性・適切性を担保します。研究・教育活動における評価は、学生による授業評価、ファカルティ・ディベロップメント（FD）参加状況、発表論文数、筆頭論文数、外部資金取得状況、専門分野の臨床能力・実績、社会貢献実績等の客観的指標に基づき行います。

＜教員の資質向上に関する方針＞

研究・教育水準の維持向上及び研究・教育活動の活性化を図るため、教員のファカルティ・ディベロップメント（FD）におけるワークショップ・講演会を定期的に開催します。また、学生による授業評価アンケート等を行い、教員の資質向上のための組織的且つ継続的な取組みを実施します。

求める教員像および教員組織の編制方針について

保健医療学研究科

＜求める教員像＞

本学の学是「仁」、理念「不断前進」を尊び、保健医療学研究科の人材養成の目的および教育目標を十分理解し、教員として以下の資質・能力を備えた人材を求めています。

1．「不断前進」する姿勢を有し、自らの専門性を高められる人
2．専門領域について優れた学識と高度な実践能力を有する人
3．専門分野の研究指導を行うに相応しい知識及び経験を有し、熱意をもって学生指導に取り組むことができる人
4．研究者としての高い倫理観と国際的な研究力をもち、大学院生・若手研究者の育成を推進できる人
5．大学・研究科の運営に関わる業務に協調性をもって積極的に携わる意欲のある人

＜教員組織の編制方針＞

保健医療学研究科の教育理念・教育目標を達成するため以下の通り組織的な運営・連携・機能強化を図ります。

1．大学院設置基準に定められた専任教員数及び教授の数を満たす教員を各学科に配置する。
2．研究科運営の充実を図るため、各専攻の専任教員で構成される各種委員会を設置し、適切な役割分担の下で組織的な連携体制を整備する。
3．教育・研究の更なる充実のため、様々な専門性を持った教員を配置する。

＜教員の募集・採用・昇格方針＞

教員に求められる資質・能力は「順天堂大学教員選考基準」のほか、選考内規に則って教員の選考を行います。学部・大学院の一貫した教育を実現するため、資格を有する教員は保健医療学部との併任とします。全職制に任期制を採用し、教授は全国公募を実施する等、透明性・適切性を担保します。教育・研究活動における評価は、学生による授業評価、ファカルティ・ディベロップメント（FD）参加状況、発表論文数、筆頭論文数、専門分野の臨床能力・実績、外部資金取得状況、社会貢献実績等の客観的指標に基づき行います。

＜教員の資質向上に関する方針＞

研究・教育水準の維持向上及び研究・教育活動の活性化を図るため、教員の FD ワークショップや講演会を定期的に開催します。また、学生による授業評価、各種アンケートを実施・検証する等、教員の資質向上のための組織的且つ継続的な取組みを実施します。

求める教員像および教員組織の編制方針について

国際教養学研究科

＜求める教員像＞

本学の学是「仁」、理念「不断前進」を尊び、国際教養学研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を深く理解し、以下の資質・能力を備えた人材を、本研究科が「求める教員像」として定めます。

1．「不断前進」する姿勢を有し、自らの専門性を高められる人
2．専門領域において優れた学識と高度な実践能力を有する人
3．専門分野の研究指導を行うに相応しい知識及び経験を有し、熱意をもって学生指導に取り組むことができる人
4．研究者としての高い倫理観と国際的な研究力をもち、大学院生・若手研究者の育成を推進できる人
5．大学・研究科の運営に関わる業務に対して協調性をもって積極的に取り組む意欲のある人

＜教員組織の編制方針＞

国際教養学研究科は、教育研究上の目的を達成するため、以下の方針で教員組織を編制します。

1．必要教員数
大学院設置基準に定められた専任教員数及び教授の数を満たし、教育研究活動を継続的に実施するために必要な教員を適切に配置します。
2．構成
教育・研究の水準を維持し向上させるため、年齢や性別などの属性に偏りがないよう配慮し、国際性を考慮した多様で包摂的な教員組織を目指します。
3．管理運営組織
教育・研究の実施に際しては、国際教養学研究科委員会、大学院検討委員会、入試委員会を設置し、それぞれの役割を分担しながら組織的な運営と連携、機能強化を図ります。

＜教員の募集・採用・昇格方針＞

1．公正な選考基準
教員の選考は、「順天堂大学教員選考基準」及び選考内規に基づき、公正かつ適切に行います。
2．一貫した教育体制
学部・大学院の一貫した教育を実現するため、多くの教員は国際教養学部との併任とします。
3．任期制と全国公募
全ての職位に任期制を導入し、教授は全国公募で採用します。これにより、透明性と適

切性を確保し、多様な視点と経験を持つ教員を迎え入れます。

４．教育研究活動の評価基準

教育研究活動の評価は、以下の客観的指標に基づいて行います。

・専門分野での実績
・発表論文数及び筆頭論文数
・外部資金の取得状況
・学生による授業評価
・ファカルティ・ディベロップメント（FD）参加状況
・社会貢献実績
・その他、上記に準ずる評価項目

＜教員の資質向上に関する方針＞

１．ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動の推進

教員の専門性と教育力を高めるため、定期的に FD ワークショップや講演会を開催し、最新の教育手法や研究成果を共有します。

２．授業評価の実施

学生による授業評価を各授業ごとに実施し、評価結果を教員にフィードバックします。このフィードバックを基に、授業内容や教授法の改善を図ります。また、教員の自己評価やキャリア開発にも反映させ、教育力の向上を支援します。